

学習内容報告書 フォーマット

| | |
|-----|------------|
| 学校名 | 鶴岡市立湯野浜小学校 |
| 授業者 | 齋藤 瑞穂 |

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

根拠や理由を明確にしながら立場を主張し合い、考えを深めよう。

題材名 「地域の防災について話し合おう」「パンフレットで知らせよう」

1-2. 学年

第6学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

国語、総合、特別活動

1-4. 単元の概要

題材「地域の防災について話し合おう」ではパネルディスカッションの進め方を知り、論題について意見を持ち、準備をしたうえで実際にパネルディスカッションを行う。これまで取り組んできた、ディベートや学級会の話し合い活動との比較をしながら、パネルディスカッションのイメージを持たせ、そのよさに気づかせたい。

教科書では「災害に備えて、身を守るために必要なこと」が論題として挙げられている。6月の修学旅行で震災遺構の仙台市立荒浜小学校の見学を行うことから、修学旅行の事前学習や総合的な学習の時間の中で東日本大震災や湯野浜の防災対策について学習しているところである。災害に対する関心が高まっていることや、さらに湯野浜という立地から、「大きな地震があった時、身を守るにはどのようなことが必要か」という論題は自分事の課題として身近なものである。

1-5. 単元設定の理由・ねらい


子どもたちにとって必要感のある内容について取り上げることで、話し合いの意欲を高められるようにする。また、実際に修学旅行や校外学習を通して必要な情報を収集し、一人ひとりの考えやそれぞれの立場の根拠をより具体的なものにし、パネルディスカッションを通して、一人ひとりの防災に対する考えが深まるようにしたい。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・ パネルディスカッションを通して、様々な立場の意見を聞いたり、考えを伝えたりすることで、自分の考えの変容や深まりを実感するとともに、全体で考えを交えることの面白さを実感する。
- ・ 話し合いや修学旅行や校外学習で学んだことを、図表などを工夫して用いながら整理して、家庭や地域に発信する。

1-7. 単元の展開（全12時間）

| 時数 | 学習活動・主な内容 | 教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等 |
|------------------|---|--|
| 1 | <p>○学習の見通しを持つ。 ・教科書や参考資料の例示から、パネルディスカッションのイメージを持つ。</p> | <p>・これまでに経験してきた話し合いと、パネルディスカッションの違いを理解できるようにする。 ■パネルディスカッションのイメージを持ち、学習の見通しを持つことができる。（観察）</p> |
| 2 | <p>○パネルディスカッションにおける話し合いの仕方、「パネリスト」「司会者」「フロア」の役割について知る。 ・教科書の例示から、パネルディスカッションの話し合い方と、目的を確認する。</p> | <p>・参考資料にある論題を用いて、簡易的にパネルディスカッションを行いながら、それぞれの役割や流れを理解させる。 ・「それぞれの立場の意見を発表し、話し合うことで考えを深めていく」ことが学習のめあてであると伝える。 ・論題「災害に備えて、身を守るために必要なことはなんだろう。」を提示する。 ■パネルディスカッションの進め方や、役割などを理解している。（観察）</p> |
| 3 | <p>○論題について自分の考えを書き、それをもとにグループに分かれる。 ・自分の考えを書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>論題 災害に備えて、身を守るために必要なことはなんだろう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>予想される立場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の充実 ・非常用グッズの準備 ・災害に関する知識 ・どんな施設があるか ・過去の震災から学ぶ ・地域との連携 </div> | <p>・「災害から身を守るために必要なこと」について子どもたちから意見を出させ、分類分けをする。考えが出にくい児童は出てきた意見を参考にさせ、考えが持てるようにする。 ・論題に対する児童の考えをもとに、教師がグループ分けをする。 ■論題について、自分の考えを持ち、発表したりノートに書き表したりすることができる。（発表・ノート）</p> |
| 4 5 6 7 | <p>○情報を集め、主張の組み立てや、発表に必要な資料の作成を行う。 （国語＋総合的な学習の時間）</p> <p>①根拠となる情報・資料を集める。 （インターネット、本、校外学習など）</p> <p>②調べたことをもとに、発表方法を考え、発表用の資料、メモを作成する。</p> <p>③発表資料を使ってグループで練習する。</p> <p>④リハーサルを行い、グループで意見を出し合い資料や発表の手直しをする。</p> | <p>・タブレットや図書資料、校外学習で話を伺うなどして情報を得られるようにする。 ・自分の考えが明確になるように構成を考えさせ、発表メモを作成するよう助言する。 ・考えが明確に伝わるよう、話し方や資料の説明の仕方を指導する。 ・予想される質問を考え、それに対する答えを用意させる。 ・発表の様子を録画して、発表や資料について見返し、内容や説明を工夫させる。 ■パネルディスカッションをするために主張をまとめたり、資料を準備したりしている。（話し合い・資料整理シート）</p> |

| | | |
|----------------------|---|---|
| <p>8 本 時</p> | <p>○パネルディスカッション①を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>論題 災害から身を守るためには、何が必要か。</p> </div> <p>① パネリストの発表 ② パネリスト同士の意見交換、フロアからの質問・意見 ③ 話し合いをもとにパネリストによるまとめ ④ 司会者のまとめ</p> <p>○パネルディスカッションをふりかえり、友だちの主張から、自分の考えの変化や深まりをまとめる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・事前に役割を決めておく。 (グループで代表1人がパネリスト、残りの児童はフロア) ・フロアからパネリストへの質問・意見の参考になるように、それぞれの主張を聞きながらメモを取らせる。 ■司会者：計画通りに討論を進めることができる。 (話し合い) ■パネリスト：自分の立場や考えを明確にして話したり、資料を用いたりして効果的に発表したりしている。 (話し合い) ■フロア：他のパネリストやフロアの質問や意見をもとに、自分の考えを深めたり広げたりしている。 (話し合い) |
| |  <p>修学旅行 被災地見学</p> | |
| <p>9</p> | <p>○被災地見学後に、パネルディスカッション②をする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・被災地見学を通して考えを深めた後、テーマや立場を変えてパネルディスカッションをする。 ■根拠を明らかにして意見を述べたり、意見を聞いて考えを深めたり広げたりすることができる。 (話し合い・学習シート) |
| <p>10</p> | <p>○パネルディスカッションのふりかえりをする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・パネルディスカッションを通して、自分の考えがどのように変わったかをふりかえる。 ■パネルディスカッションの良さや、自分の考えの変化、深まりをまとめている。(学習シート) |
| <p>11</p> | <p>○パンフレットの特徴を理解し、パンフレットに書く内容を決め、構成を考える。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・様々なパンフレット提示して見くらべ、特徴を理解できるようにする。 ・誰に・何を・なんのために作るのか目的意識や相手意識を明確にする。 ■内容や分担を話し合い、構成を決めている。 |
| <p>12</p> | <p>○読み手にわかりやすくするための工夫をして自分たちの考えをパンフレットにまとめる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ■読み手にわかりやすくするために、構成や図表などの工夫をしながらパンフレットを作ることができる。(パンフレット) |

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

○ 根拠を明らかにして意見を述べたり、パネリストやフロアの意見を聞き、自分の考えを深めたり広げたりすることができる。

2-3. 本時の展開

| 主な学習活動 / 反応 | 教師の指導・支援 / 評価の視点（方法） |
|---|--|
| 1 本時のめあてを確認する。 <input type="text" value="パネルディスカッションで、自分の考えを深めよう。"/> | ○めあての確認をする。 |
| 2 論題、流れ、役割の確認。 役割のめあてを確認する。 <input type="text" value="論題 災害から身を守るためには、何が必要か。"/> | ○司会者が論題を確認する。 |
| 3 パネルディスカッションをする。 <input type="text" value="第一回発言"/> ○パネリストが意見を述べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の充実 ・災害に向けた備えの充実 ・情報の活用 ・地域との協力 4 <input type="text" value="第二回発言"/> ○パネリストどうして討論を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・備えの充実とは具体的にどのようなことか。 ・どのような場面で地域との協力が必要になるか。 5 フロアから出された質問や意見について、全体で討論を行う。 6 <input type="text" value="第三回発言"/> ○話し合いをもとに、パネリストがまとめの発言をする。 7 司会者が話し合いの全体をまとめる。 | ○司：話し合いがスムーズに進むよう、事前に各パネリストの意見を聞き、原稿を作成しておく。 ○パ：意見交流の場で話す内容を残しつつ、話す内容を選択させる。 ○フ：意見交換の場で質問や意見を出せるよう、話の内容を聞きながらメモを取らせる。 ○話し合いが滞った場合はグループ内で相談する時間を設定する。 ○フロアから出された質問にパネリストが答える。 ■それぞれの役割を果たしながら、パネルディスカッションに参加し、論題について話したり、聞いたりしている。（観察） |

| | |
|---|---|
| <p>8 本時の話し合いのふりかえりを書き、考えが変わったところ、深まったところを伝え合う。</p> <p>○それぞれのパネリスト、司会者、フロアの主張や進行、意見でよかったところを伝え合う。</p> <p>・資料の使い方や具体的な例示があってわかりやすかった。</p> | <p>○話し合いを聞いて考えが変わったところ、深まったことをふり返しシートに書かせる。</p> <p>■違う立場の意見を聞き、自分の考えを深めることができたか。(ノート)</p> |
|---|---|

3. 今回の活動の自己評価

| |
|---|
| <p>○ 修学旅行前後での防災についての討論会等、子どもたちが自分事として考えられるものを扱うことが大切だと実感した。自分事として捉えられる課題設定を行うことで、話し合いや伝え合う活動に意欲的に取り組み、考えを深めているように思った。</p> <p>○ 友達との意見交換や一緒に課題解決に向けて、意欲的に交流する場面が見られた。また、相手の意見を聞いて繋げる、比較するという点ではおおかたできていたが、相手の考えや意見を自分の考えに生かすということでの聴き方の指導が必要で、「聞いて終わり」になっていることがある。</p> <p>○ 今回の学習や被災地での震災遺構の見学をとおして得た知識や体験をまとめた読書感想文が、全国入賞となった児童がいるなど、教科横断的に取り組んだ防災学習が子どもたちの強い印象に残り、深い学びにつなげることができた。</p> |
|---|

4. 今後の課題

| |
|---|
| <p>○ ふり返しを行う場を意識的に設定し、自分の考えの変容などに気づくことができた。一方で、全体で共有したり、授業に生かしたりすることができなかつた。どのような場面でどのように活かせるか考えていきたい。</p> <p>○ 授業内で、ペアや小グループなどで意見交換をする場面を設け、困ったときに相談し合ったり、意見を伝え合ったりでき、考えが深まった。今後は、話し方・聞き方の指導が不十分で、特に相手意識を持った話し方を今後も指導をしていく必要がある。(声の大きさ・目線など)</p> <p>○ ICTを活用し、考えを共有することができた。調べ学習での活用などを意識的に取り入れたい。</p> |
|---|

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

| |
|--|
| |
|--|

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。